

《本校の特色》

教育理念、目的にもとづき、次のような資質を持った学生を求めています。

1. アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

1. 看護師になりたいという明確な目標をもち、専門性を高める努力ができる人
2. 倫理観を持って人に共感し、思いやりの心をもったコミュニケーションができる人
3. 医療のスペシャリストとして地域社会に貢献する意欲のある人
4. 健康と生活に関心を持ち、自立した日常生活力を身につけようとしている人

2. カリキュラムポリシー

本校のカリキュラムは、科目のなかで学ぶ基礎的専門的な知識・技術の学習と併せて、豊かな人間的成長を育むため学習への工夫に取り組んでいる。ICTを活用したシミュレーション教育や体験学習を積極的に取り入れている。本校の強みを活かし地域や他学科と連携・協働しながら多職種連携について学べるカリキュラム構成になっている。

1. 看護の対象である人間を身体・精神・社会的側面から統合的に捉え人間関係をより詳しく見つめコミュニケーション能力が修得できるよう＜基礎分野＞を配置している。
2. 人体の構造・病態生理の知識をもとに疾病を看護の視点で捉え、健康の保持増進につながり、健康障害をもつ対象の健康状態の変化がわかり、治療が及ぼす影響について対応する思考過程が学べるよう＜専門基礎分野＞に「看護病理学」「看護に活かす治療法」を新たな科目として追加し＜専門分野＞へ繋がる内容とした。
3. 人々の暮らしに目を向け、人に優しい福祉やお互いに尊重しあう思いやりの心をもった街づくりに貢献できるよう「地域とくらし」「地域福祉特論」を「地域・在宅看護論」へ繋がるよう配置した。
4. ＜基礎分野＞＜専門基礎分野＞で学習した内容を、統合し対象の状態に応じた必要な看護を判断し実践できる科目として統合看護技術を設定した。また、他学科と連携協働や実習を通して、看護者の果たすべき役割を考えられるよう＜専門分野＞に組み入れた。
5. 到達目標に照らし自己評価しながら学習する双方向授業を基本として、学生参加型の少人数グループワークや視聴覚教材・ICTを活用した授業を計画した。1年次より「反転型授業」「協同学習」をとりいれた授業内容とした。

3. ディプロマポリシー

教育目標に対応させ、看護職を目指す卒業生として卒業時に身につけていることを臨む姿を以下に示します。

1. 人間を身体的・精神的・社会的に統合された、多様性を持った存在として幅広く理解できる。
2. 対象を中心とした看護を提供するために、看護師としての人間関係を形成するコミュニケーション能力やその人らしさを尊重した態度を身につける。
3. 看護師としての責務を自覚し、対象の立場に立った倫理に基づく看護が実践できる。
4. 健康の保持・増進・疾病の予防及び、健康の回復に関わる看護を健康の状態やその変化に応じて科学的根拠に基づいた判断ができ、対応できる基礎的能力を身につけ臨床判断につながる思考ができる。
5. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割及び多職種との役割を理解し、多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々への看護が提供できる基礎的能力を身につけ、広い視野を持ち、社会の変化に伴う看護の動向に関心をむけることができる。

4. アセスメントポリシー

学習成果は以下の通りに評価します。

1. 看護技術では、対象者への説明と同意が行うことができ、対象の思いに配慮できたか、正確に適切に準備・実施・片付けまで行えたか、その場面を適切に報告できたかを点数化します。
2. 学科では、選択問題は解答の正誤、記述問題は問われたことに対して焦点をあて論理的に述べられているか、自身の考えを述べられているかを含めて点数化します。
3. 点数化は科目担当教員が配分し60点を合格とします。
4. 臨地実習では、担当教員と指導者が協議し、対象理解、看護の実践力、連携・調整・社会資源、実習への取り組みの視点に沿ってルーブリック評価を用いて点数化します。
5. 90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、60点未満を不可として評価します。